子育てひろば

どきどき わくわく いきいき

今回紹介するのは、「ママのミニ学習会」と地域子育て支援センターの催し、そして鬼怒川児童館の先生が書きおろした子育てコラムです。

子育て学習 ママのミニ学習会

「ママのミニ学習会」は、年間を通して地域子育て支援センターで開催されています。育児について学ぶと同時に、親同士の仲間作りの場としても活用されています。

内容は「こころ編」、「からだ編」、「ことば編」、「親業編」の4つに分かれており、年間で約20回開催されています。医師や保健師、教育研究所の先生などの専門家が講師を務めています。ビデオなどを使って分かりやすく説明してくれますし、皆さんの疑問にも答えてくれます。

また、講師の話を聴くだけでなく、親子一緒の体験学習もありますので、親子のふれあいの時間として、ぜひご参加ください。

先生の話を真剣に聴く参加者のみなさん

必要なもの

○母子健康手帳

○筆記用具

※学習会の間は、お子さんを無料で預かります。お子さんと一緒に来る場合は、おむつや着替えなど、お子さんに必要な物もお持ちください。

くわしくは 地域子育て支援センター ☎(22)2299

親子で歯磨きの練習中。

子育てコラム

今回は、鬼怒川児童館の笹沼加代子先生に書いていただきました。

鬼怒川児童館 笹沼加代子先生

「感覚を育てよう」

子どもたちを育てる上で大切なことの一つに「感覚を育てる」ということがあります。人間にとって、3歳から6歳くらいの「子ども」の時期は、多くのことを身につける大切な時期です。この時期に意図的にいろいろな経験をさせ、その子の持っている能力を最大限に引き出すことが大切です。

まずは「運動感覚」。特にバランス感覚は大切です。なかなか乗ることができない一輪車に乗せるのも一つの方法です。次に「味覚」(甘味・酸味・塩味・苦味・うま味)の獲得もこの時期に行われます。正しい味覚を得るためには、おいしいもの(ぜいたくなものではない、本物の味)に触れさせることも大切です。また「美的感覚、色彩感覚」も発達します。きれいな色や、素晴らしい絵に触れさせてあげましょう。

そして、今の時代に一番大切だといわれている「善悪を判断する感覚」もこの時期に獲得します。褒められたり、叱られたりすることで、社会性や倫理、モラルに通じる感覚が養われるのです。

子どもたちと触れ合う時間をできるだけ多くとり、子どもたちの「感覚」を育てていきましょう。

地域子育て支援センターの催し

◎ママのミニ学習会「ことば編」
～豊かな会話を楽しむために～

とき 3月23日(金) 午前10時15分～11時45分

ところ 地域子育て支援センター

講師 下山田(しもやまだ)弘(ひろし)氏(家庭相談員)

申込期限 3月22日(木)

※お子さんを預けられます。

申込先及びくわしくは 地域子育て支援センター ☎(22)2299

◎リズム遊びを楽しもう！
「うたっておどってタン・タン・タン」

とき 3月28日(水) 午前10時30分～11時30分

ところ 地域子育て支援センター

くわしくは 地域子育て支援センター ☎(22)2299